

このような者に迷わされている人も、このなかにはいるであろう。そのときには、祈りを使いなさい。祈りを使うのです。

あなた方が祈りの力を使うときに、成就しないことは何もない。この地上を離れたる靈天<sup>れいてん</sup>上界における高級諸神<sup>こうきゆうしゆ</sup>たちが、こそつてあなた方に力を貸してくれることとなるのだ。自分独りで悪と戦おうとするな。自分独りで魔と戦おうとするな。あなた方に信仰が確固としてあるときには、神もまた、あなたの傍ら<sup>かた</sup>にあって、あなた方と共に戦っているということを知らなくてはならない。

5 修法「エル・カンターレ ファイト」

では、そのように、あなた方が悪魔と戦うときに、使うべき祈りを伝授することとしよう。

主<sup>しゅ</sup>  
エル・カンターレよ

われ  
我らに 光を与える

我らに 力を与える

我らに 生きる勇氣と 希望を与える

我らに 奇蹟<sup>きせき</sup>を与える

ライト！ クロス！

ライト！ クロス！

エル・カンターレ

ファイト！

38

もう一度解説をする。

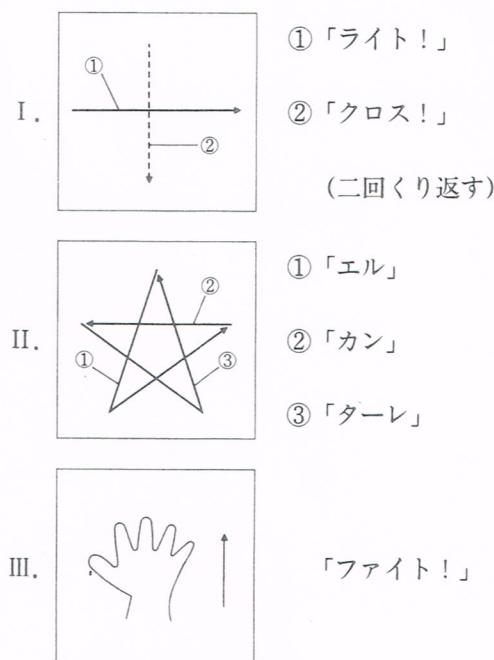
これが「サタン追放<sup>ついほう</sup>の祈り」である。これは、エル・カンターレの光を直接あなた方が受け、サタンと戦うときの祈りを中心とした修法である。

まず、左手を腰に置き、右手を左に寄せ、左から右に横一文字に空を切る。このときに「ライト」と呼ぶ。次に、この右手を中央、頭の上にあげ、これを十文字に切るがごとく縦に降ろす。このときに「クロス」と呼ぶ。「光の十字」という意味である。ライトは光、クロスは十字。光の十字を二度切る。

その後、この手を中央にあげ、星の形に切っていく。中央から左斜め下に降ろす。そしてこの手を切り換えて、斜め上にあげる。さらにこの右側から、左に横に切り、

## 修法「エル・カンターレ ファイト」

※この修法は、危機に遭遇した場合の修法です。安易な使用は避けてください。（図は自分のほうから見た時の図です）。



42

悪靈の側から見たときに、どのように見えるか。これはまったく逆に見えます。光の十字架が二回現われ、次に光のスター、星が現われ、その星が自分に目がけて飛んでまいります。

この修法は「エル・カンターレ ファイト」と言いますけれども、この修法をするとき、最後に星の真ん中に手をかざしたときに、あなたの眉間みけん、それから手の真ん中、さらには正会員じょこういんが持つてある正心宝、この三か所から神の光がほとばしります。眉間、掌ひらそして正心宝の三か所から光がほとばしります。これがサタン撃退げきたいの方法

それを斜め右下に降ろす。そしてこれを斜め上にあげたときに星が完成する。このとき、上から下に「エル」。横に「カン」。上に「ターレ」。「エル、カン、ターレ」。ここで真上にきます。

ここで、いまつくった星の真ん中に手をかざして、「ファイト」と言います。「戦え」という言葉です。英語で「戦え」という意味です。

直訳するならば、「光の十字、光の十字、エル・カンターレ、戦え」という意味になります。これは「主よ、我と共に戦い給え」という呪文じゆもんです。

です。

そしてその後に、

主 エル・カンターレよ

ご指導ありがとうございました

と、唱えればよろしい。

すでに、沖縄で、悪靈撃退用に、修法「光のドーム」というものを教えました。それは私の本で結界けつきをつくり、その東西南北に会員が座り、そのなかに悪靈に憑かれて

45

44

いる人を置いて、『正心法語』を唱えるというやり方でした。この修法「エル・カンターレ ファイト」というものも、この「光のドーム」と同じようにも使えますが、みなさま方一人でも可能です。

ただし、信仰心というものが前提となりますから、原則、正会員でなければ効果はありません。正会員であれば、エル・カンターレの光をそのまま受けることができます。

一番効力を發揮するのは、いま言つたとおり、サタン撃退のときであり、あなたの前に、そのようなサタン

字を二回切り、さらに光の星を描いて、

ライト！ クロス！

エル カンターレ

ファイト！

と、唱えるのです。さすれば、あなた方はいかなる困難のなかにおいても、うち克<sup>か</sup>つ力が与えられることとなるでしょう。

に憑かれて苦しんでいる者、惱乱<sup>のうらん</sup>している者あらば、いま言つた作法で、撃退することが可能となります。

もし、あなた方が、こうした修法もできないような事態に置かれているとき、あなた方が事故の真つただ中に置かれるとき、あるいは雲仙普賢岳のように、火山弾<sup>かさんだん</sup>が飛んでくるとき、溶岩<sup>ようがん</sup>が流れるとき、地震で大地が割れるとき、津波<sup>つぶなみ</sup>で家が流されるとき、落雷<sup>らくらい</sup>が落ちるとき、このようなときにも、いま言つた修法を行じてみてください。

もし、そうした場がないならば、心のなかで、光の十

これが、あなた方に与えられた神祕的な言葉です。この言葉を語るときに、あなた方はエル・カンターレの光と一体となります。必ずや奇蹟<sup>きせき</sup>が起きてくるはずです。

その奇蹟の力は、その人の信する力に比例します。その人の神理を学んだ程度の高さや深さも多少の影響がありますが、原則は、信する力が強ければ奇蹟<sup>きせき</sup>が起きます。

家族に重病人<sup>じゆうびん</sup>がいて、もはや治<sup>な</sup>らないというときでも、信する力があれば、十字を切り、星を切り、念じてください。されば必ずや、その光があなた方の家族を救うでしょう。心底信じ切ることができたならば、すでに死